

## 2023年7月のガス料金について

2023年5月30日

蒲原ガス株式会社

当社は、2023年7月検針分に適用する従量料金単価を、1m<sup>3</sup>あたり下表のとおり調整いたします（詳細は別紙参照）。

今回のガス料金の調整は、2023年2月～2023年4月のLNG（液化天然ガス）平均価格（貿易統計値）により算定された平均原料価格に基づくものです。

また、2023年2月検針分より、電気・ガス価格激変緩和対策事業（※）の政府支援を踏まえ、原料費調整後の単価から1m<sup>3</sup>あたり30円（税込）の値引きを実施しています。

※詳細は資源エネルギー庁の「電気・ガス価格激変緩和対策事業特設サイト」をご覧ください。  
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)

2023年7月検針分の調整額
----------------

△42.74円/m <sup>3</sup> （税込）
-----------------------------

2023年7月検針分よりガス料金の改定を実施し、従量料金単価を1.14円/m<sup>3</sup>引き上げさせていただきますが、LNG平均価格が下がったことから、2023年6月検針分と比較して従量料金単価は7.52円/m<sup>3</sup>の引き下げとなります。

なお、2023年7月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガスご使用量等のお知らせ」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

<お問い合わせ先>

蒲原ガス株式会社

総務部 総務課 担当 小杉

TEL 0256-72-3337

<別 紙>

## 料金表（2023年7月）

### ●一般ガス供給約款料金

（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）

2023年6月検針分に適用される従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり7.52円/m<sup>3</sup>（税込）の引き下げとなります。

なお、従量料金単価には、電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援を踏まえた1m<sup>3</sup>あたり30円（税込）の値引きが反映されております。

また、基本料金は変わりません。

（税込）

基準従量料金単価との差額 （値引き反映後）	△42.74円/m <sup>3</sup>
--------------------------	------------------------

### 【一般ガス供給約款料金表】

（税込）

	1か月のご使用量 （適用区分）	基本料金 （1か月あたり）	従量料金単価（1m <sup>3</sup> あたり）	
			2023年7月検針分	（基準従量料金）
料金表A	0m <sup>3</sup> ～25m <sup>3</sup>	660.00円	135.01円	177.75円
料金表B	26m <sup>3</sup> ～250m <sup>3</sup>	924.00円	124.45円	167.19円
料金表C	251m <sup>3</sup> ～	2,123.00円	119.66円	162.40円

ガス料金は、検針日の翌日から20日以内（早収料金適用期間）にお支払いいただく場合には、早収料金となります。早収料金適用期間を過ぎてお支払いいただく場合には、遅収料金（早収料金を3%割り増しした金額）となります。

### 【ガス料金の計算式】

早収料金 = 基本料金（税込）+ 従量料金単価（税込）× ご使用量

消費税等相当額 = ガス料金 × 消費税率 ÷ （1 + 消費税率）

（上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

## 標準家庭における影響

（税込）

1か月のご使用量	2023年7月 適用料金	2023年6月 適用料金	増減額	増減率
47 m <sup>3</sup>	6,773円/月	7,126円/月	△353円/月	△4.95%

※標準家庭のガスご使用量は、当社におけるご家庭1件・1ヵ月あたり平均（2016年～2020年度の5年間平均）に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	2023年2月～4月 原料価格	基準平均原料価格
LNG平均価格	106,860円 / t	123,030円 / t
平均原料価格	108,120円 / t	124,480円 / t

### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格 (2023年2月～2023年4月貿易統計値)} \times 1.0118 \\
 &= 106,860\text{円/t} \times 1.0118 \\
 &= 108,120.948\text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(10円未満四捨五入)} \\
 &= 108,120\text{円/t}
 \end{aligned}$$

### ■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 108,120\text{円/t} - 124,480\text{円/t} \\
 &= \Delta 16,360\text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(100円未満切り捨て)} \\
 &= \Delta 16,300\text{円/t}
 \end{aligned}$$

### ■ 調整額（1m<sup>3</sup>あたり）の算定（平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき）

$$\begin{aligned}
 \text{調整額 (値引き反映前)} &= \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times 0.071\text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\
 &= \Delta 16,300\text{円} / 100\text{円} \times 0.071\text{円} \times 1.10 \\
 &= \Delta 12.7303\text{円} \\
 &\quad \downarrow \text{(小数点第3位以下の端数切り上げ)} \\
 &= \Delta 12.74\text{円}
 \end{aligned}$$

※ 原料価格変動額100円につき従量料金単価を1m<sup>3</sup>あたり0.0781円（0.071円に1.10（1+消費税率）を乗じた値）調整します。

$$\begin{aligned}
 \text{政府支援を踏まえた調整額} &= \Delta 12.74\text{円/m}^3 - 30.00\text{円/m}^3 \\
 &= \Delta 42.74\text{円/m}^3
 \end{aligned}$$

上記計算の結果、

- 基準従量料金単価に対し、1m<sup>3</sup>あたりΔ42.74円（税込）調整します。
- 2023年6月検針分に適用される従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり7.52円/m<sup>3</sup>の引き下げとなります。